

本社ガスビルサービスセンター 支社所在地および電話番号

大阪支社 〒550 大阪市西区千代崎3-2-95 ☎大阪 06 (586)3200
南部支社 〒590 堺市住吉橋町2-2-19 ☎堺 0722(38)1131
北部支社 〒569 高槻市藤の里町39-6 ☎高槻 0726(71)0361
東部支社 〒576 東大阪市稲葉2-3-17 ☎河内 0729(62)1131
兵庫支社 〒650 神戸市中央区東川崎町1-8-2 ☎神戸 078(360)3100
京都支社 〒604 京都市中央区烏丸御池梅屋町358 ☎京都 075(231)8151
奈良支社 〒691 奈良市学園北2-4-1 ☎奈良 0742(44)1111
和歌山支社 〒640 和歌山市本町1-5 ☎和歌山 0734(31)2481
兵庫西支社 〒670 姫路市神屋町4-8 ☎姫路 0792(85)2221
豊岡支社 〒669 豊岡市三坂町6-57 ☎豊岡 0795(28)2221
湖南支社 〒525 草津市追分町字荒瀬680-1 ☎草津 0775(62)5311
彦根支社 〒522 彦根市大東町12-11 ☎彦根 0749(22)3131
長浜営業所 〒526 長浜市南呉服町3-4 ☎長浜 0749(62)7171
本社ガスビルサービスセンター 〒541 大阪市中央区平野町4-1-2 ☎大阪 06 (202)2221

大阪ガス株式会社

おねがい

ガスくさいときは、ガスの元栓を閉め、夜中でもすぐ、お近くの大阪ガスにご連絡下さい。

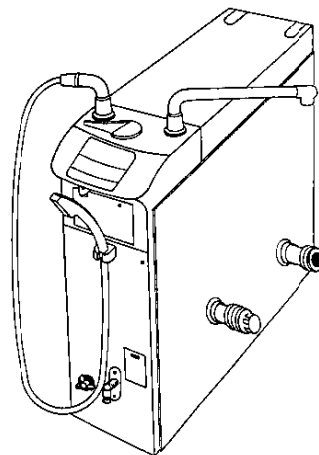
ガス風呂釜浴室内設置型〈BF型〉

給湯・シャワー付タイプ

31-876/877型

31-878/879型

型式名 SR-130SDX



取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なお、
ご不明な点があればお買い求めの販売店
にお問い合わせください。

 大阪ガス

ごあいさつ

このたびは、大阪ガスの風呂釜浴室内設置型〈給湯・シャワー付〉をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

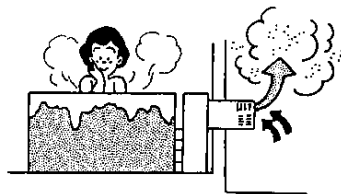
もくじ

●特徴・機能のご紹介	1
●必ずお守りください	3
●各部の名まえと扱いかた	6
●初めてお使いいただくときに	8
●使用方法	9
●凍結予防のしかた	15
●点検・お手入れ	16
●故障かな?と思ったら	18
●寸法図	20
●仕様	22
●保管とアフターサービス	23

特徴・機能のご紹介

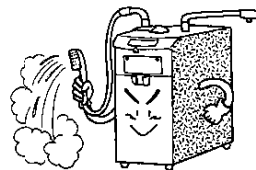
●空気を汚さず快適

燃焼に必要な空気を屋外から取り入れ、排気も屋外へ。
浴室内の空気を使いません。



●能力は13号

給湯能力はバランス型風呂釜では最大の13号。
たっぷりお湯が使えます。



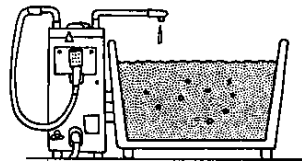
●便利で経済的な1台3役

この機器は、風呂釜と給湯器がひとつになっているので、シャワー・あがり湯・追いだきと、1台3役の働きをします。



●お湯はりを希望の水位で止める自動湯はり

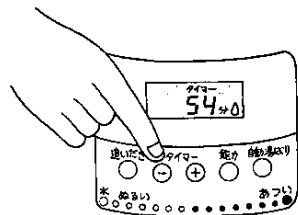
あらかじめセットした水位で、自動的に浴そうへの湯はりをストップする便利な自動湯はり機構を内蔵しています。(12ページ参照)



特徴・機能のご紹介

●沸かし過ぎを防ぐ追いだきタイマー

あらかじめセットした時間で、自動的に追いだきをストップする追いだきタイマーを内蔵しています。(14ページ参照)

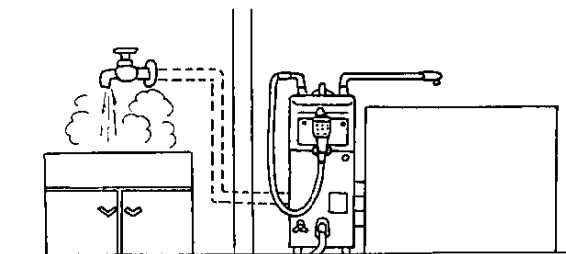


●種火点火操作のいらぬダイレクト点火方式

従来のバランス型風呂釜でめんどろだった種火への点火操作がなくなり、ワンタッチで給湯・追いだき操作ができます。

●給湯配管も可能

給湯配管をすれば、台所や洗面所でもお湯が使えます。また、追いだきしながらの同時使用も可能です。



必ずお守りください

●ガスの種類を確かめてください。

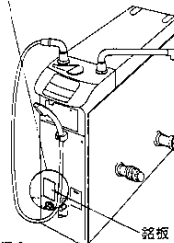
- 機器に貼付してある銘板に表示されているガス（ガスグループ）以外のガスでは使わないでください。

[注]この部分を必ずご確認ください。

銘板例

上り専用暖房用給湯混合水栓用ガス	
型番	SF-130SDX
対応ガス	12A・13A用
12A 熱大	21,700kcal/h
ひる	5,600kcal/h
13A 熱大	23,300kcal/h
ひる	6,000kcal/h
販売会社	ガスター
設置の方式	
外置用	(BF-W)
チャンバー用	(BF-C)

(例) 都市ガス13A・12Aの場合



●本器の用途について

- ふろの追いだきおよび給湯以外には使わないでください。
- 機器内に長時間たまった水は、飲用、または調理に用いないでください。

●補助用具について

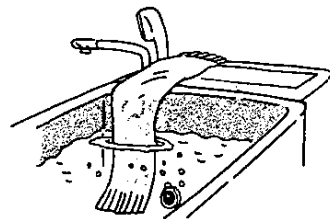
- 機器取り付けにあたっては、この機器の純正部品以外は使用しないでください。(不完全燃焼の原因となります)
- 混合水栓をご使用の場合は、出口が絞られないもの(瞬間湯沸器混合水栓)を選定してください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。(給湯配管をしている場合)市販の湯ぞめ防止器などを取り付けて使わないでください。(釜の寿命を短くすることがあります。)

●空だきのご注意

追いだきをするとときは、浴そうに水があること(上部循環口から10cm以上)を確認してから操作してください。

●入浴時のご注意

- この風呂釜は下部循環口よりつめたい水が入り、上部循環口よりあつい湯が出る循環方式のものです。浴そう水の上部と下部には相当な温度差があります。入浴時にはじゅうぶんかきまぜてください。
- 浴そうの循環口をタオル等でふさがなくてください。循環口をふさぎますと循環不良となり、追いだきができません。



●入浴剤のご注意

硫酸、酸、アルカリをふくんだ健浴剤や洗剤は、熱交換器の腐食の原因となるものがありますので健浴剤等のご使用文を十分ご参照ください。

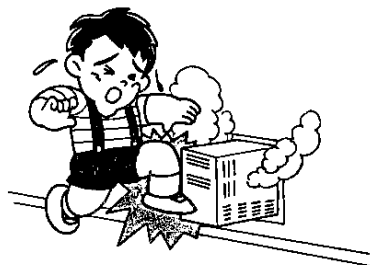
●長期間使用しない場合

- 給水栓、ガス栓をしめ、水抜きを行ってください。(P15「凍結予防のしかた」をご確認ください。)
- 再使用するときは、しばらく水を流してから使用してください。

必ずお守りください

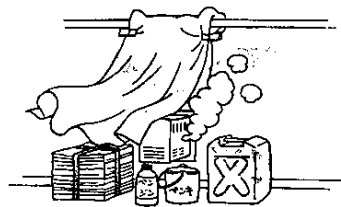
●やけどのご注意

使用中および消火直後は、給排気トップが高温になっていますので、絶対に手をふれないでください。



●火災予防について

屋外の給排気トップの上や、周囲には燃えやすいものを置かないでください。また、洗たく物やビニールなどでふさがないようにください。



●凍結予防について

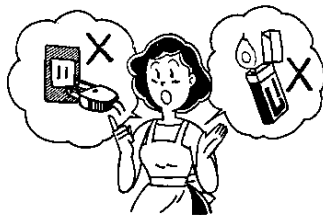
- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため機器および配管内の水が凍って、機器や配管を破損することがあります。
- 詳しくはE15「凍結予防のしかた」をご覧ください。

●日常の点検・お手入れ

- 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- 詳しくはE16「点検・お手入れ」をご覧ください。

●ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときはすぐに使用をやめてガス元栓をしめ、お求めの販売店か最寄りの大阪ガスへご連絡ください。



係員が処置するまでは、マッチやライター等を使ったり、電源プラグの抜き差しや電気器具の「入」「切」は絶対にしないでください。

- 万一、異常と思われるとき（使用中に異常音のするとき等）は、ガス、給水栓をしめ、お求めの販売店か、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

ガスモレ・やけど・火災
故障などを防ぐために

●乾電池の交換について

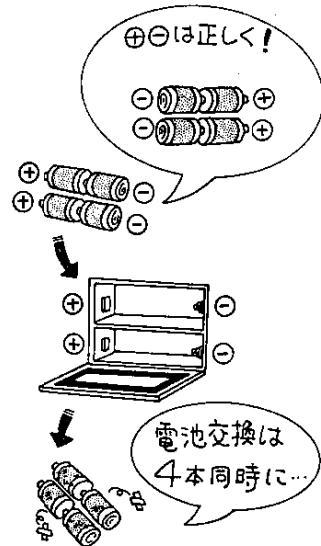
- 乾電池は消耗品です。機器本体の表示画面に「電池交換」のマークが表示されたら、すべての乾電池を新しいものと取り替えてください。「電池交換」のマークが表示された状態で使用されていると、しばらくすると表示画面に「EE」のマークが表示され、使用出来なくなります。

ご注意

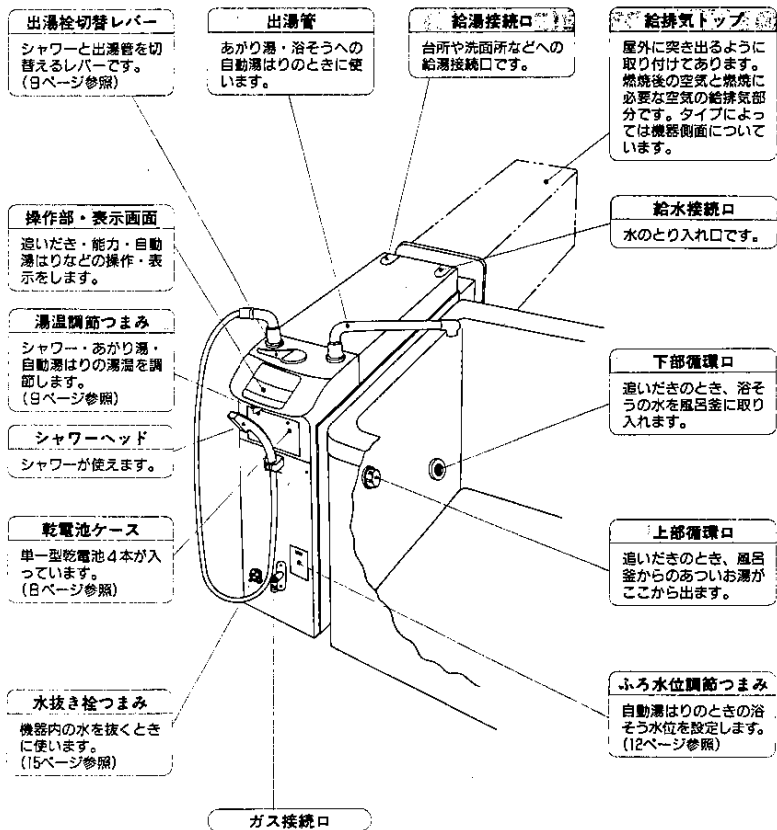
乾電池を交換されるときは、電池ケースのまわりや手などがぬれていないことを確認してください。

■使いかたのポイント

乾電池の寿命は乾電池の種類によっても異なりますが、通常の使いかたで約1年を目安としてください。付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので、自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

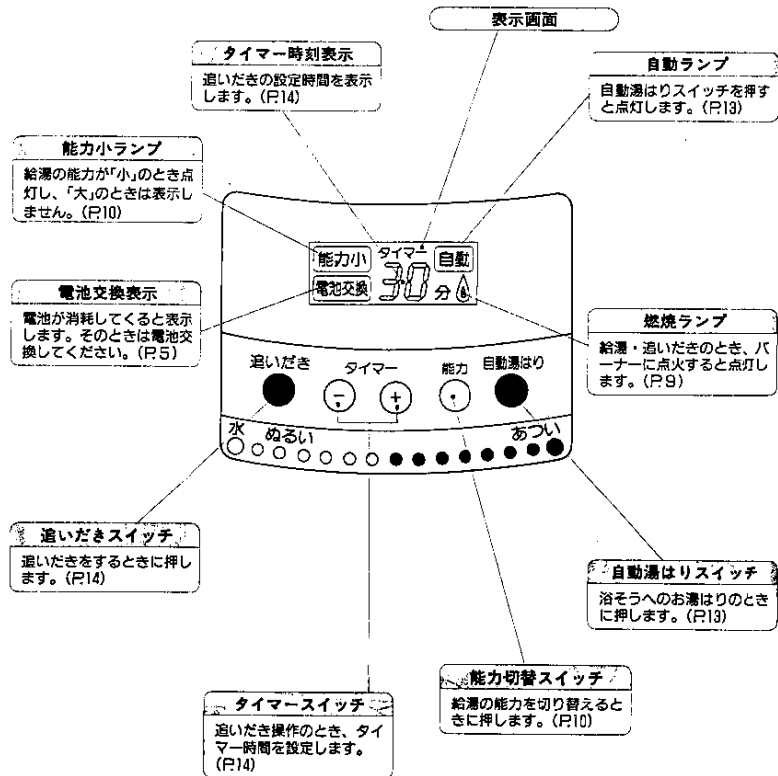


各部のなまえと扱いかた



※イラストの機器は右水管タイプです。左水管タイプでは、給水接続口・給湯接続口・ガス接続口・ふろ水位調節つまみ・循環口・シャワー・出湯管・水抜き栓つまみなどの位置が逆になります。

表示画面



初めてお使いいただくときに…

●操作前の準備と確認

1 給水元栓を全開にする



機器付近

2 ガス元栓を全開にする



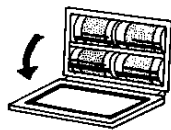
機器付近

3 乾電池を取り付けます。

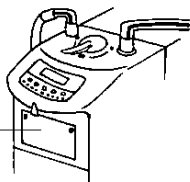
①機器前面上部にある電池ケースフタのネジ2個をゆるめてフタをあげます。

②乾電池(単1、1.5V 4個)を電池ケースにはめ込み、しっかりと電池ケースフタをネジ2個でしめます。

※乾電池の⊕⊖を逆にして入れると、機器が正常に作動しません。



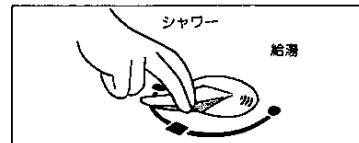
電池ケースフタ



使用方法

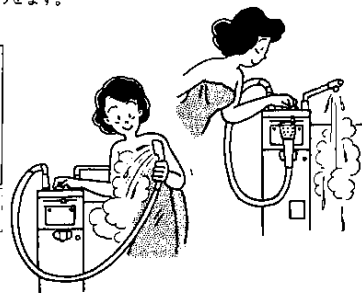
●給湯・シャワーの使い方

1 出湯栓切替レバーを「シャワー」または「給湯」に合わせます。表示画面に「燃焼ランプ」が点灯し、お湯が出ます。



(イラストは右タイプです。左タイプはシャワー・給湯が逆になります。)

(表示部)



ご注意

特にシャワーを使用されるときは、直接体にかげずに手で確認してください。

2 湯温を調節します。

「湯温調節つまみ」と「能力切替スイッチ」で操作します。

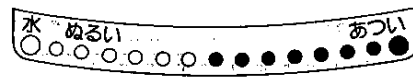
通常は「湯温調節つまみ」でおこない、夏など水温が高いときや湯量を少なくして使用したいときに「能力切替スイッチ」を使用します。

(1)「湯温調節つまみ」でお好みの湯温に調節します。

●「湯温調節つまみ」を中央より「ぬるい」の方向に動かすと、お湯はぬるくなります。また「水」の位置にすると表示画面の「燃焼ランプ」が消えて水になります。

「湯温調節つまみ」を「水」の位置から右にすると、再びお湯が出ます。

●「湯温調節つまみ」を中央より「あつい」の方向に動かすと、湯量が減ってお湯があつくなります。



「ぬるい」の方にお湯はぬるくなります。

「あつい」の方にお湯はあつくなります。

(湯温調節つまみ)



使用方法

ご注意

①繰り返し使う場合は、始めにあつい湯が出る場合がありますのでご注意ください。



②湯温調節は必ず湯温調節つまみでおこなってください。出湯栓切替レバーでの湯量の調節はしないでください。

③湯温調節つまみは、同じ位置につまみを合わせても水温によって湯温が変わります。



(2)「能力切替スイッチ」で湯温を調節します。

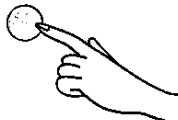
季節によって水温が変わり、「湯温調節つまみ」ではお好みの温度が得られないことがあります。「湯温調節つまみ」を「ぬるい」にしてもお湯があつすぎるときは、下記の操作をしてください。

①「能力切替スイッチ」を押します。

表示画面に「能力小」が点灯し、お湯がぬるくなります。

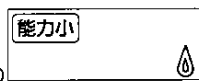
「能力切替スイッチ」をもう一度押すと、「能力小」が消えて能力が大きくなります。

能力



②「湯温調節つまみ」でお好みの湯温に調節します。

(表示部)

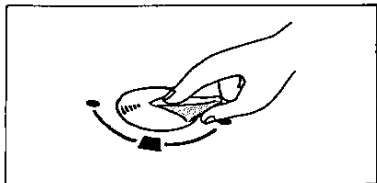


ご注意

追いだき中に給湯すると追いだきはいったん停止し、給湯をとめると自動的に追いだきを再開します。なお、台所や洗面所に給湯したり「能力小」で給湯しているときには、追いだきも同時に使えます。

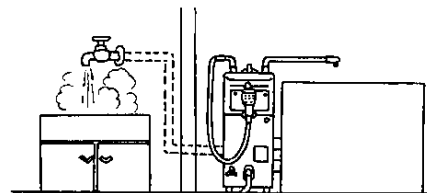
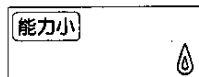
3 止めるときには、出湯栓切替レバーを■(止)の位置にします。

●表示画面の「燃焼ランプ」が消えお湯が止まります。



●機器から配管してある給湯栓の使い方 (台所・洗面所など)

1 使用する場所の給湯栓をあげればお湯が出ます。このとき給湯能力は自動的に「能力小」になります。表示画面に (燃焼ランプ) と「能力小」が点灯します。



2 湯温を調節します。

- 使用する場所の給湯栓をしぼると湯量が減ってあつくなり、あげると湯量がふえてぬるくなります。
- 給湯栓で湯温調節しにくいときには、機器本体の「湯温調節つまみ」で調節してください。
- また使用する水栓が混合水栓のときは、水と混ぜ合わせて調節する方法も可能です。

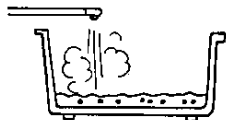
ご注意

- ①浴室以外でお湯をご使用になる場合、お湯が出てくるまでに多少時間がかかります。
- ②浴室以外でお湯を使用中に、浴室でお湯を使いたいときは、出湯栓切替レバーをそれぞれの位置に合わせれば使えますが、湯量は減ります。
- ③混合水栓で使用される場合、給水側を出し過ぎるとお湯にならないことがあります。

●お風呂を沸かす場合(自動湯はり)

お風呂を沸かすときは「自動湯はり」でおこないます。

①スイッチを入れるとお湯はり開始



②設定水位になると自動的にお湯はりストップ

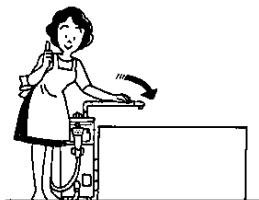


1 運転前の準備

①浴そうの排水せんを排水口に差し込みます。



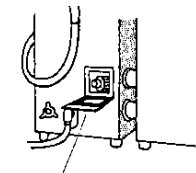
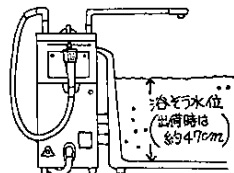
②出湯管を浴そう内に回します。



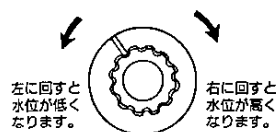
2 浴そう水位を「ふろ水位調節つまみ」で希望の水位に合わせます。

ふろ水位調節つまみは約10回転します。

工場出荷時には浴そう底面より約47cmに調節されています。ご希望の水位を調節してください。(つまみは1回転で約2cm水位が変わります。)



フタを押してフタをあけます。



左に回すと
水位が低く
なります。

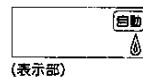
右に回すと
水位が高く
なります。

(水位調節つまみ)

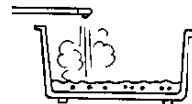
3 「自動湯はりスイッチ」を押します。

出湯管より自動的にお湯が出ます。

自動湯はり



(表示部)



ご注意

「自動湯はりスイッチ」を押してもお湯がでず、表示部に「F2」の表示が出たときは、次の操作で自動湯はりをしてください。「F2」の表示が出るのは水圧が高いため、機器の故障ではありません)

- ①出湯栓切替レバーを「給湯」にしてお湯を出してください。
- ②「自動湯はりスイッチ」を押してください。「自動」を表示します。
- ③出湯栓切替レバーを必ず「止」にしてください。

4 入浴したい湯温に調節します。

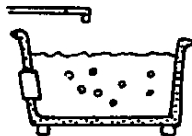
操作方法はP.9「②湯温を調節します。」をご覧ください。

ご注意

自動湯はりに湯温調節つまみを「水」の位置にすると、水で自動湯はりします。

5 設定した水位になると自動的にお湯が止まります。

自動湯はりを途中でやめたいときは、もう一度「自動湯はりスイッチ」を押します。
※浴そうに湯はりした後に、お湯の温度がまだぬるい場合は、P.14「浴そうの湯がぬるいとき・残り湯を沸かし直したいとき」の項をご覧ください。



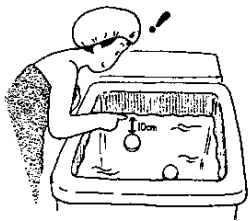
ご注意

- ①自動湯はりに出湯栓切替レバーをシャワーにすると、シャワーも使用できます。
- ②自動湯はりをおこなうときは、出湯栓切替レバーを必ず「止」にしてください。
- ③残り湯が多いときに「自動湯はりスイッチ」を押しても、自動湯はりができないことがあります。そのときは、出湯栓切替レバーを給湯にしてたし湯をしてください。
- ④自動湯はりに浴室外でお湯を使用すると湯量は減ります。

● 浴そうの湯がぬるいとき・残り湯を沸かし直したいときは

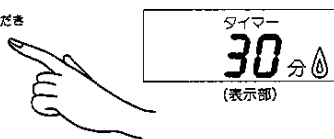
浴そうに自動湯はりした後、お湯の温度がまだぬるいときや残り湯を沸かし直すときは次の要領で風呂を沸かしてください。

- 1 浴そうの水位が、上部循環口より10cm以上あることを確認してください。
10cm以上ないときは、出湯管よりたし湯をしてください。

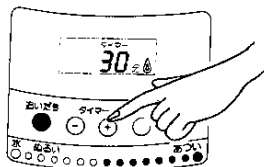


- 2 「追いだしスイッチ」を押します。
表示画面に「燃焼ランプ」が点灯し、追いだきを始めます。

追いだし

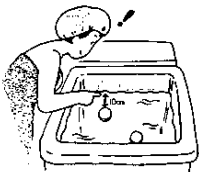


- 3 「タイマー」で追いだし時間を設定します。⊕スイッチを押すと時間が増えます。⊖スイッチを押すと時間が減ります。
設定した時間になると自動的に追いだきが消火し、表示画面の「燃焼ランプ」が消えます。途中でやめたいときは、もう一度「追いだしスイッチ」を押します。



ご注意

- ①必ず浴そうの水位が上部循環口より約10cm以上あることを確認してから、操作してください。水が少ないと火がつかないことがあります。
②追いだし中に給湯を使用すると、いったん追いだきは停止します。給湯を止めると再び追いだしが開始されます。タイマーはその間、停止しています。ただし、給湯能力が「力小」のときは、追いだしは停止せずに同時使用ができます。台所や洗面所などで給湯をご使用の場合も同時使用ができます。

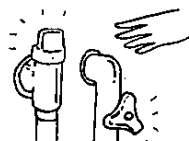


凍結予防のしかた

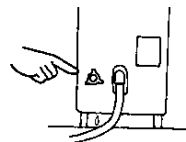
冬期、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のため機器や配管が破損することがあります。破損した場合、高額な修理費用がかかる場合があります(有料)。設置場所の温度が氷点下になり凍結のおそれのある場合は、次の方法で予防処置を行ってください。

(入居前や長期不在の場合も同じ操作をしてください)

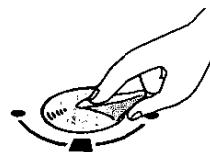
- 1 ガス栓、給水栓を閉めます。



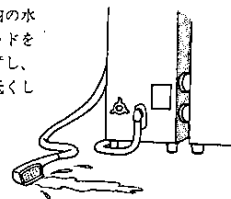
- 4 水抜き栓つまみを左にいっぱい回して給湯器の水を抜きます。
水が機器の下部より流れ出ます。



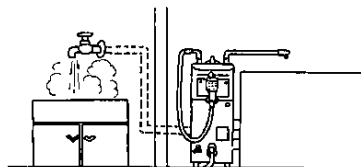
- 2 出湯栓切替レバーを給湯側にします。



- 5 シャワーホース内の水は、シャワーヘッドをハンガーからはずし、ヘッドの位置を低くして抜きます。



- 3 台所や洗面所などに給湯している場合は、給湯先の給湯栓を全開にします。



- 6 浴そうの排水栓を抜き、浴そうの水を抜きます。



次に使用するときは、水抜き栓、給湯先の給湯栓(給湯配管している場合)をしめガス栓、給水栓を明け、出湯栓切替レバーを給湯にしてお湯の出ることを確認してから操作してください。

ご注意

- ①上記の手続きをしないで機器が破損した場合の修理は、保証期間内でも有料です。
②万一凍結した場合は、シャワーまたは出湯管から水が出ることを確認してからご使用ください。
③凍結して水が出ない状態で使用されますと危険な場合があります。

点検・お手入れ

●日常の点検

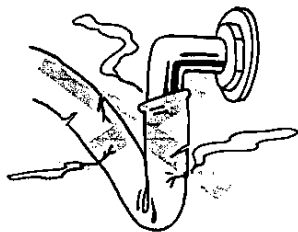
次の8つのポイントで点検してください。

- 機器および配管より水漏れはありませんか。
- 機器および配管よりガスの臭気はありませんか。



●ゴム管接続をされている方

- ゴム管が古くなってひび割れしたり、折れていませんか。またゴム管がガス栓やガス接続口に十分差し込まれ、ゴム管止めで止めてありますか。
- ゴム管およびゴム管接続部からガス漏れしていませんか。ときどき石けん水で点検してください。
- ゴム管を取り替える場合、強化ガスホースを使用しガス接続口の赤線のところまで差し込み、ゴム管止めでしっかり止めてください。



- 給排気トップのそばに燃えやすいものはありませんか。
- 浴室の排水口はつまっていませんか。機器を浸水させると故障の原因となります。
- 運転中に機器から異常音は聞こえませんか。
- ケーシング(外装)の穴あきなどはありませんか。
- 泡沫水栓をご使用の場合は、ときどき内部のフィルターを掃除してください。(給湯配管をしている場合)

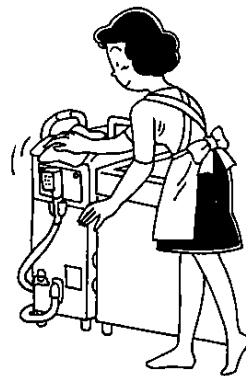
●定期点検のおすすめ

安心してより長くご使用いただくために、年一度の安全点検をおすすめします。お求めの販売店か、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。

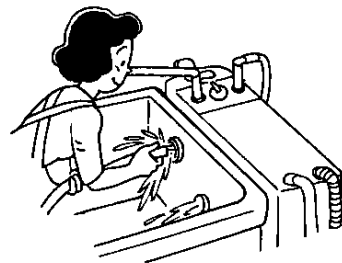
●日常のお手入れ

- 1 本体は中性洗剤をしめたやわらかい布で軽くふいてください。

※ステンレスでもさびることがあります。ヘアピン、金属片等を置いたり、タワシやブラシなどでこすらないように注意してください。



- 2 浴そうを洗うときは風呂釜も洗ってください。洗いは循環口に水道のホースを入れ、勢いよく水を注ぎ込み、上下交互に水洗いしてください。



ご注意

- お手入れの前には、必ずガス元栓、給水元栓をしめ、機器が冷えてから行ってください。
- 機器は絶対に分解しないでください。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

お調べいただくこと (原因)	こんなとき (現象)										処置方法	参照ページ	
	点火スイッチ・リブ	出湯切替レバー	自動湯はり	追いだし	追いだし	追いだし	追いだし	追いだし	追いだし	追いだし			追いだし
ガス元栓の開け忘れ	○		○	○	○							ガス元栓を開ける	8
ガス元栓の開き不十分	○	○	○	○	○							ガス元栓を全開にする	8
ガスが無い(LPガス用)	○	○	○	○	○							販売店に連絡する	—
配管内に空気が残っている	○											点火操作を繰り返す	9
ガス圧が適切でない	○	○	○	○	○							*	—
ゴム管の折れ曲がり、つぶれ	○			○	○	○						ゴム管の折れ、曲がり直す	—
水元栓の開け忘れ						○						水元栓を開ける	8
水元栓の開き不十分						○						水元栓を全開にする	8
水圧が適切でない						○						*	—
水フィルターのつまり						○	○	○				*	—
出湯切替レバー位置が適切でない						○						「使用方法」のP.13を参照	13
循環パイプのねじれ、つぶれ											○	*	—
パーナー出口つぶれ	○											*	—
浴そうの水が少くない											○	浴そうに水を加える	14
能力切替スイッチが適切な位置でない						○						「使用方法」のP.14を参照	14
湯温調節つまみの位置が適切でない						○						「使用方法」のP.9を参照	9
浴そうに残り湯が多く入っていないか											○	「使用方法」のP.13を参照	13
タイマーセット時間調整不良											○	「使用方法」のP.14を参照	14
電池の交換	○					○	○	○				必ずお守りくださいのP.5を参照	5
水圧が高くありませんか											○	「使用方法」のP.13を参照	13

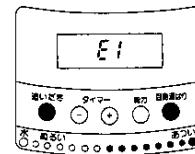
*印の場合は使用を中止して、大阪ガスにご連絡ください。

- このほかに異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガスへご連絡ください。
- 修理は絶対にお客さまご自身でなさらないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

●エラー表示

表示画面にはエラー表示機能(故障診断機能)があります。表示画面のタイマー時間表示箇所エラー表示が出来ます。

表示	故障箇所	対処
E1	流水スイッチ・水スイッチ系統の不具合	乾電池交換のときに、水を流した状態で交換しませんでしたか。そのときは、出湯切替レバーで水を止めればE1は消え、正常に使えます。それ以外でエラー表示がでるときは修理依頼してください。
E2	操作部の各スイッチ系統の不具合	乾電池交換のときに、操作部のスイッチを押した状態で交換しませんでしたか。そのときはスイッチを離せばE2は消え、正常に使えます。それ以外でエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
E4	ガス電磁弁系統の不具合	いったん停止状態にして、約20秒後にもう一度給湯操作をしてください。それでもエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
AV	炎検出系統の不具合	炎の立消え検出系統の不具合
AE	点火不良検出系統の不具合	ガス栓が全開になっていますか。なっていないときはガス栓をひらき、いったん停止状態にして約20秒後に給湯操作をしてください。またガス配管内に空気が入っているときは、この操作を数回くり返してください。
AF	炎の立消え検出系統の不具合	プロパンのガスがなくなっていないですか。ガスメータの安全装置(マイコンメーター)が作動していませんか。もしそうでない場合は修理依頼してください。
EE	乾電池の寿命	乾電池をすべて交換してください。交換方法はP.5をご覧ください。
F2	水電磁弁系統の不具合	出湯切替レバーを「給湯」にしてから「自動湯はりスイッチ」を押し、さらに出湯切替レバーを「止」にすれば自動湯はりできます。それでもエラー表示がでるときは、修理依頼してください。
F4	給水・給湯配管の不具合	給水と給湯配管を逆に接続していませんか。それ以後でエラー表示が出るときは、修理依頼してください。
F5	空だき防止装置の不具合	風呂追いだきするとともに、浴そうの水位が上部循環口より10cm以上ありますか。それ以外でエラー表示がでるときは、修理依頼してください。
F9	水位検知装置・空だき防止装置の不具合	自動湯はりするときに、浴そうの排水栓が排水口に差し込まれていませんか。出湯は浴そう内に向けていますか。また浴そうにふたをしていませんか。それ以外でエラー表示がでるときは、修理依頼してください。



(表示例)

仕様

●仕様表

種	類	13号シャワー付BF型風呂釜	
商	品	名 31-876、877、878、879	
型	式	名 SR-130SDX	
外	形	寸 法 (高さ×幅×奥行) 690×250×855mm	
外	装	材 質 ステンレス鋼板	
重	量	(本 体) 23kg	
給	排	気 ト ッ プ 壁貫通部穴径：高さ350mm×幅230mm	
接	統	口	給水 15A (R1/2)
		給湯 15A (R1/2)	
		循環パイプ取付口 φ45mm	
※	ガ	ス	給湯 (大)23,300～(小)11,500
			追いだき 6,000
			同時 18,000～17,800 (給湯能力小的时候)
※	能	力	給湯 (大)13.0号～6号 (小)6.2号～3号
			追いだき 沸上がり時間 (水温15℃→湯温40℃ 浴槽180ℓ) 62分
水	圧	使用水圧 0.7kg/cm ²	
		最低作動水圧 0.3kg/cm ²	
点	火	方 式 連続放電点火方式	
安	全	装 置 立消え安全装置 過圧防止安全装置 空だき安全装置 器体過熱防止装置 水抜き栓 湯沸過熱安全装置	
付	属	部 品 取扱説明書 工事説明書	

* ガス消費量および給湯能力はガス量によって多少異なります。

保管とアフターサービス

●保管(長期間使用しない場合)

- 給水元栓、ガス元栓をしめ、水抜きを行ってください。
(R15「凍結予防のしかた」をご覧ください。)
- 再使用するときは、しばらく水を流してから使用してください。

●アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- サービス(点検・修理)を依頼される前に
「故障かな?と思ったら」(P.18-19)の項を見て、もう一度ご確認ください。
それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、もしくは大阪ガスにご連絡ください。
- ご連絡の際には次のことをお知らせください。
 1. 品名……ガス風呂釜浴室内設置型<BF型>
 2. 品番……機器の前面に貼付してあります。
 3. 現象……できるだけ詳しく。
 4. 道順……できるだけ詳しく。

(例) (N) 31-876
大阪ガス株式会社 01

転居されるとき

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

保証・補修について

- 保証期間中は……
保証書に記載のように、機器の故障について修理いたします。
保証書を紛失されますと、保障期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について
買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガスにご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この製品の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打切後7年間です。